

平成30年度 第3回 学校運営協議会 記録

○日時 平成31年2月21日(木) 午後15時30分～17時00分

○場所 本校 高等部棟2階 図書室

○参加者 学校運営協議会委員 守口市教育センター センター長 吉川 弘美 様
立命館大学 産業社会学科 教授 青山 芳文 様
門真市公共職業安定所 専門援助部門 統括職業指導官
野志 秀憲 様
錦地域コミュニティ協議会 会長 渡辺 人司 様
守口支援学校 学校医 森口 久子 様
本校PTA会長 中重 早苗 様

事務局 可知校長 佐野教頭 紙野教頭 與賀田事務長
西面小学部主事 山本中学部主事 石田高等部主事
室田首席 寺村養護教諭 各分掌部長

○内容

- 1 学校長挨拶
- 2 学校運営協議会会長挨拶
- 3 学校教育自己診断集計報告
- 4 平成30年度学校経営計画の総括と今後の課題について(校長)
自己評価で評価の低い項目(△)3つ
 - ①ストレスチェック
 - ②人権尊重
 - ③個人情報紛失・誤配布
- 5 平成31年度学校経営計画について
 - ・めざす学校像及び中期的目標承認
 - ⇒中期的目標の1(1)に【これまで本校が取り組んできた「児童生徒自らが主体的にいきいきと活動できる授業づくり(わかって動ける授業づくり)」を深化させる。】を追加。
 - ⇒中期的目標の3(2)に【福祉医療人材(OT、PT、ST、臨床心理士)やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、などの連携により、効果的な指導・支援の充実を図る。】を追加。
 - ⇒中期的目標の3(3)に【関係機関・事業所にも積極的に提供することで、支援の連携を強化する。】を追加。

6 協議並びにご提言

・働き方改革について

24Hの使い方について説明している。睡眠の重要性。睡眠以外の2/3をどれぐらい仕事に当てはめていくか。ストレスチェックはここ3年ほどで入ってきた。精神医学的にも議論されている。仕事の負担量はやや高め、仕事のサポート感は少しある方、同僚のサポート感も少しある方。

健康のリスク。仕事の負担量・質はやや高め。

守口市でも働き方改革に取り組んでいる。いろんなやり方がある。何のためにするのか納得しないと「時間数だけ減らせ」だとモヤモヤする。マインドセット。腹に落としてからやらないと難しい。保護者アンケートのご意見の中で、学校の行事は評価が上がってきている。

生徒会活動は低評価（広報不足）。支援学校でありながら子どもたちに意欲的なことを求めているんだなと感じた。頑張っていたきたい。

アンケートの「人権尊重の意識や生命を大切にする心、社会ルールを守る態度の育成」の項目の上昇率がアップ。本当にやってもらいたい。

授業に対して風通しがよく、敬意を表したい。3回ほど授業を見させていただいた。T1の授業として、わかってうごける授業、工夫してすごいと思っている。

T2のうごきがカギとなる。流れの中で授業改善できるか。

7 諸連絡